

食料品スーパーの省エネ

今回の省エネ・省コストは、「食料品スーパー」に絞って省エネを考えます。食料品スーパーは、店舗営業の代表といっても良い業種で、空調や照明などの大量のエネルギー使用を前提に商品等を提供する空間であり、店舗におけるエネルギー使用量のあり方は、消費者の購買行動に与える影響も小さくありません。

店舗における省エネに取り組む意義

一般的に省エネはサービスの低下を招くと捉えられがちですが、熱心に省エネに取り組む店舗は、商品管理や接客サービスにおいても優れていると言えます。例えば、揚げ物の売れ行きのパーク時間帯を把握し、それに合わせて調理設備を通电して調理するようにしたところ、ピーク時に揚げたての商品が陳列されるようになり、省エネと同時に商品の売上げが増加したという事例があります。また、売場の照明を間引き・消灯して商品を目立たせるよう照明配置を工夫したことにより、省エネを図りながら心地良い空間を演出している事例もあります。これらの事例は、店舗における省エネ対策が、店舗運営の質を高めるための有効な手段にもなることを示しています。企業や家庭においてエネルギーの有り方についての関心が高まる中で、顧客の誘引効果や購買意欲向上という目的はあっても、エネルギー使用を伴う営業スタイルは、企業の社会的責任の観点からも見直しが求められる時代です。

食料品スーパーの省エネルギー対策の進め方

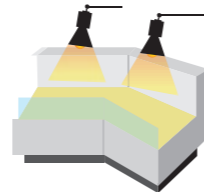
省エネ対策は、店舗の快適性を損ねたり、商品の鮮度に影響を与えたりすることを強いるものではありません。きめ細かな省エネ対策は、商品管理の徹底やこまめな空調管理などを通じて顧客サービスの向上にもつながります。省エネ対策と魅力的な店舗づくりは、本来同じ視点でとらえることができる課題です。

省エネ対策

食料品スーパーでエネルギーを使用する設備は、照明、空調・換気設備、冷凍・冷蔵設備と限定されます。店舗全体で代表的な省エネ対策を紹介します。

(1) 照明設備の省エネルギー対策

照明は、高効率照明の積極的な採用とゾーンや商品毎の照度を見直していくことにあります。最近のスーパーの中には、店内の中でも、暗いゾーンと明るいゾーンを作りだし、メリハリをつけている店舗がみられるようになりました。ショーケースも明るければ良いという事ではなくスポットライトや全体照明のバランスをとって運用しましょう。

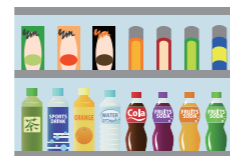


(2) 空調設備の省エネ対策

空調は、冷蔵・冷凍庫からの冷気漏れの影響で、店内の場所によっては冷えすぎたりしている場合もあるので、店舗内の温度管理は十分に注意しましょう。

(3) 冷凍機設備の省エネ

ショーケースや冷凍機の運用を過剰にならないようにしましょう。また、古い設備で異音がしたり効率が悪い機械を使用し続けず計画的に更新しましょう。



(4) 「見える化」による省エネ

省エネルギー対策を進めるには、エネルギー使用状況を把握することが基本です。把握した情報を有効に活用するために、エネルギー使用量等を「見える化」する必要がある、データを分析・解析することで、様々な対策を実施することが可能となります。

「見える化」に必要な設備は、大掛かりな監視機器でなくても、簡易に実施することができます。例えば、施設の大半のエネルギーである電気は、右図のようなデマンド監視装置があれば、毎日の電気使用量の確認が可能となります。また、この装置にはデマンドの自動抑制もできる機能がついています。



デマンド監視装置のモニター

食料品スーパーの主な省エネ対策

1. エネルギー管理体制の構築

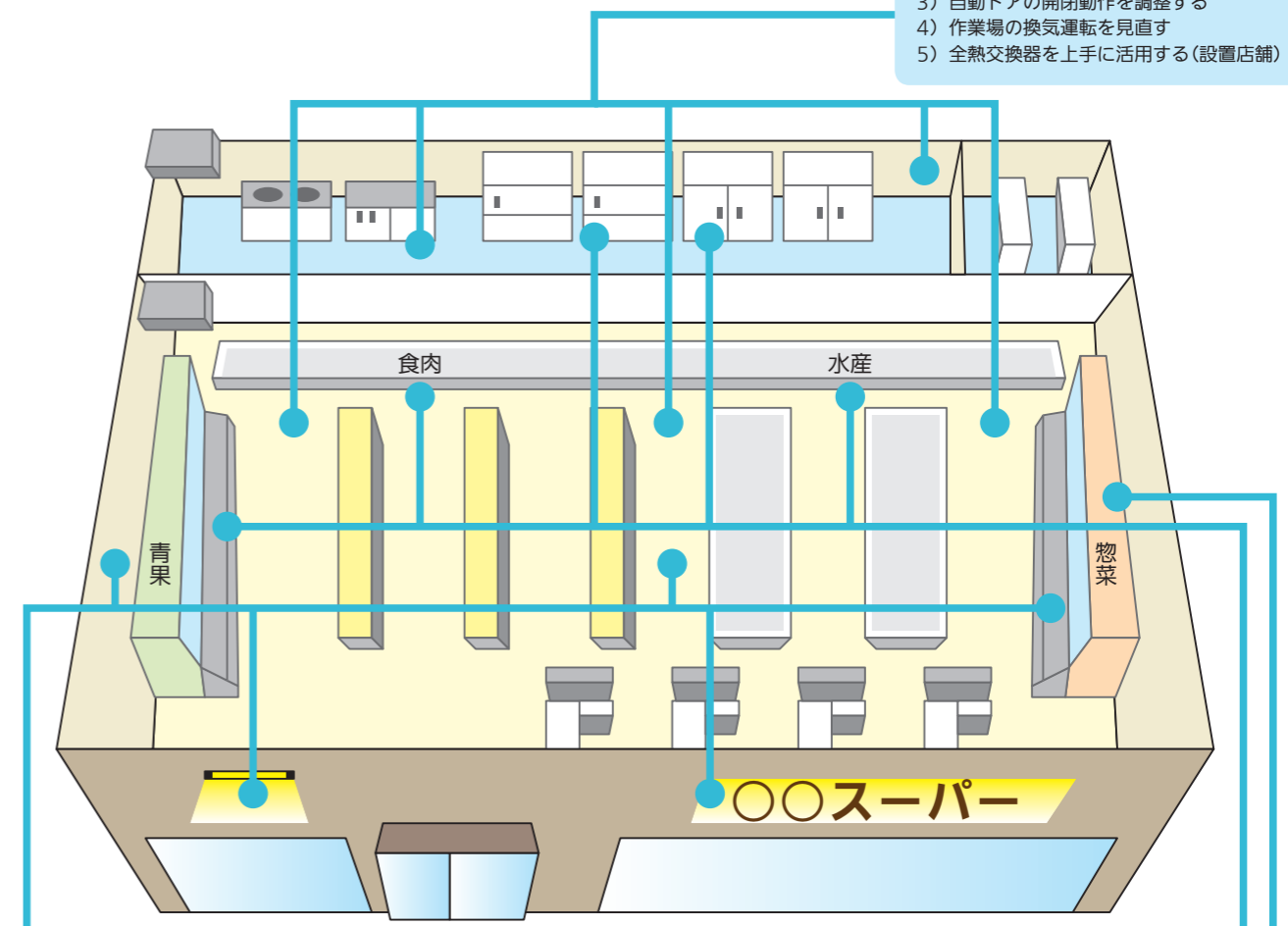
- 1) 全員参加の省エネ活動を展開する
- 2) PDCAサイクルを確立する
- 3) テナント店舗と連携する
- 4) エネルギー管理標準を設定する

2. エネルギーデータの管理

- 1) データを比較分析する
- 2) 省エネ法定定期報告書を活用する

4. 空調・換気設備の省エネルギー対策

- ◇食品売り場の空調運転は時間・場所を限定しましょう
- 1) 食品売り場の空調運転を見直す
 - 2) 出入口付近の空調運転を見直す
- ◇店内への外気侵入を抑えましょう
- 1) 開放営業を見直す
 - 2) 自動ドアの無駄な運転を防止する
 - 3) 自動ドアの開閉動作を調整する
 - 4) 作業場の換気運転を見直す
 - 5) 全熱交換器を上手に活用する(設置店舗)



3. 照明設備の省エネルギー対策

- ◇店内をメリハリのある明るさにしましょう
- 1) ショーケース照明の点灯を見直す
 - 2) スポット照明を上手に活用する
- ◇高効率照明を上手に活用しましょう
- 1) LEDランプを上手に選定する(スポット照明など)
 - 2) LED照明器具に更新する(全般照明)

6. エネルギーの見える化

- ◇デマンド監視装置を活用しましょう
- 1) 店舗の電力使用量を時間別に把握する
 - 2) デマンド目標値を設定する
 - 3) 目標達成のための運用対策を具体化する

5. 冷凍冷蔵設備の省エネルギー対策

- ◇ショーケースの運用管理を習慣にしましょう
- 1) 温度管理基準を見直す
 - 2) エアーカーテンの気流を乱さない
 - 3) 清掃を励行する
 - 4) 除霜(デフロスト)装置を調整する
 - 5) 室外機の設置状況を改善する(冷凍機別置型)
- ◇冷凍冷蔵設備の高効率化を図りましょう
- 1) クローズドタイプ(扉付き)のショーケースを採用する
 - 2) 計画的にショーケースを更新する

当協会ではホームページにも家庭の省エネや事業所の省エネ方法を紹介しています。参考にしてください。